

平成 20 年度第 2 回三条市教育事務点検評価委員会会議録

- 1 開 会 平成 20 年 11 月 14 日（金） 午前 10 時 00 分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 2 階 201 会議室
- 3 出席者 雲尾周委員長、村田洋子委員、若杉利行委員
- 4 説明のための出席者等 松永教育長、池浦教育総務課長、駒澤学校教育課長、金子生涯学習課長、蝶名林子育て支援課課長補佐、坂井学校教育課主幹、駒形教育総務課課長補佐、藤井企画調整担当、阿部教育総務課庶務係長
- 5 傍聴人 1 人
- 6 会議次第
 - (1) 開 会
 - (2) 平成 20 年度 教育に関する事務の点検及び評価報告書について
 - (3) 閉 会

7 会議の経過及び結果

(1) 開 会

(駒形教育総務課課長補佐)

おはようございます。皆様おそろいですので、ただいまから第 2 回教育事務点検評価委員会を開催させていただきます。本来であれば最初に、教育長がごあいさつを申し上げるべきところでございますが、本日は教育長、教育部長ともに別の会議がございまして、申し訳ありませんが欠席をさせていただいております。

なお、教育長は会議が終わり次第こちらに向かうことになっております。間に合いましたら最後にごあいさつをさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

そうした事情がございまして、さっそくではございますが、議事の 2 番目に入っていただきたいと思っておりますので、この後は委員長の方から議事の進行をお願いいたします。

(2) 平成 20 年度教育に関する事務の点検及び評価報告書について

(雲尾委員長)

ではよろしくお願いいたします。平成 20 年度教育に関する事務の点検及び評価報告書についてということでございまして、前回の会議で報告書をお示しいただき、それに対して評価委員から詳細なコメントをいただきまして、事務局に送付され、事務局で修正したものがこちらにございます。その修正等につきまして、事務局からご説明いただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(池浦教育総務課長)

皆様おはようございます。本日はお忙しい中ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。司会が申しましたとおり、教育長が間に合いましたら後ほど改めましてごあいさつさせていただきます。

各委員におかれましては、2 回の会議という構成で行わせていただきましたが、ご自宅や職場にお持ち帰りいただいて中身をご検討いただくような、いわゆる宿題の多い委員会となってしまうと、私ども非常に恐縮しております。今回は初めてということで、私どももどのような進め方がいいのか試行錯誤をしながら進めさせていただいた中で、こういった形となってしまうと、来年度は十分余裕を持って各委員から中身を見ていただき、より良い意見をいただけるような運営を改めて考えてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

いします。

それでは、前回会議を開催していただきまして、ご意見を踏まえた中で、私どもの対応についてお答え申し上げる中で、更にご意見等があればいただいて、成案として取りまとめまして、前回もお知らせさせていただいたとおり、今後は三条市議会へこれを報告するとともに、市民に公表させていただきたいと、こんな手順で考えておりますのでよろしく申し上げます。

説明に入る前に、全体の構成で、当初この最後に教育委員会の活動状況として事務報告書の形でまとめさせていただきたいと申し上げましたが、実際にはかなりのボリュームになりますので、私どもでポイントだけをまとめさせていただいて、平成 19 年度中に教育委員が実際活動された具体的な中身を積み上げた形で整理させていただいておりますので、ご了承いただきたいと思っております。

また、委員長からお話があるかも知れませんが、点検評価委員会の要綱や開催状況、ご評価いただいた委員さんのお名前も載せていただいているものかどうか、最後にお諮りいただきたいと考えておりますのでよろしく申し上げます。

それでは順に説明させていただきますが、説明については資料「教育事務点検評価委員会委員の意見及び対応について」を基にお話させていただきますのでよろしく申し上げます。

(池浦教育総務課長、駒澤学校教育課長、蝶名林子育て支援課長補佐、金子生涯学習課長から、それぞれ資料により説明あり。)

質疑に入る。

(雲尾委員長)

ありがとうございました。ただいま資料をご説明いただきましたけれども、何かお気づきの点等ございましたらお願いいたします。

また、出された意見等で対応が違う、趣旨が違う等ございましたらお願いします。

(雲尾委員長)

報告書の 5 ページで、下から 4 行目の「アンケートの内容を」を、「アンケートの内容の」に変えていただきたい。

(駒澤学校教育課長)

はい。そうします。

(村田委員)

送っていただいた報告書を見て、意見がありましたらという話だったのですが、今ちょっと気付いたことも、幾つかお願いしたいと思えます。

2 ページに「所期の目的を達成した」とあるけれども、その目的を達成したというのであれば「所定の目的を達成した」でよいのですが、最初の目的を達成したものであれば「初期」の方がいいのではないかと思います。

(池浦教育総務課長)

おそらく今のご指摘は、教育改革の位置付けの中の教育制度等検討委員会というご視点で受け取られたのではと思います。確かに大きな教育制度改革の位置付けという視点でとらえれば、これで「所期の目的を達成した」のではなくて、ここはむしろ入り口、スタートでございますが、私どもここで書かせていただいた「所期の目的の達成」という趣旨は、あくまでも教育基本方針が作られまして、それを具現化するために教育制度等検討委員会をまず立ち上げて、こういった方向を示すのかという大きくくりでとらえる必要があります。その大きくくりの部分という意味では、教育制度等検討委員会から答申された最終報告書をもって所期の目的を達成したといった趣旨で記載させていただいたものです。あくまでも教育制度等検討委員会という一つのくりの中で、「所期の目的を達成した」と書かせていただきました。

(村田委員)

分かりました。ありがとうございました。

次に、8ページの食育についてですが、前に食育について触れられていないということを申し上げさせていただきました。食育と出ているからには、食育についてのいろいろな活動をされていたわけですので、何らかの食育に触れた事業が出される必要があるのではないかと思います。その辺りの再度の検討をお考えいただければと思います。

(雲尾委員長)

表題の項目と「目的」には食育という言葉が出てきますが、「内容」以降には食育について記載がない。これは何か理由はございますか。

(池浦教育総務課長)

給食については、教育総務課ですので私がお答えいたします。

給食については、従来の栄養改善の視点から、食育の視点に変わってきたことがあります。私ども三条市としては、その前から給食は食育という視点でとらえておりました。組織機構の改正により、食育については教育委員会から健康づくり課食育推進室の所管になっていた関係で、組織的なことで言い訳になってしまうのですが、食育の部分については学校教育課の範囲では答えきれなかったというのが今のご指摘だと思います。

確かにごもっともであると思っておりますので、健康づくり課と情報共有いたしまして、食育についての主な活動内容を改めて下段部分に掲載させていただきたいということはいかがでしょうか。

(雲尾委員長)

それでは食育については、教育委員会の今回の評価対象となっていないわけですね。

(池浦教育総務課長)

そうです。

(雲尾委員長)

今後の方針のところに加えていただくか、あるいは「外部からの意見」のところ今この質問について掲載し、今の池浦課長が言われた内容を加えて、今後の方針の中で健康づくり課と学校教育課で連携して進めていきたいということを加えていただくという形でいかがでしょうか。

(池浦教育総務課長)

評価が終わっている段階ですので、「外部からの意見」に入れさせていただいて、市の対応について書き込ませていただくことで、よろしく願います。

(村田委員)

次に、同じ8ページのところで、評価の「体力テストの8種目と9学年、男女(2)を掛け合わせた数の144種目中」という一文がありますが、よく読むと分かるのですが、これを市民の方が見られると分かりにくいのではないのでしょうか。この表現を分かりやすく工夫していただきたいと思います。

(雲尾委員長)

順番を逆にして「体力テスト延べ144種目(各学年8種目×9学年・男女別)」というふうな書き方をされると分かりやすいのではないかと思います。

(村田委員)

資料の中で「ふれあい」という言葉がひらがなになったり、漢字になったりしていたので、それを統一したほうが良いと思いました。

〔教育長出席〕

(駒澤学校教育課長)

統一します。

(村田委員)

資料の17ページの放課後子どもプランの「目的」では「～にすること」となっているが、18ページの家庭教育講座では「～を目指す」と表現しており、他のページの語尾は「～すること」と表現していることが多いようです。18ページの語尾も「～すること」という形に統一したらいかがでしょうか。

(蝶名林子育て支援課課長補佐)

そのように訂正させていただきます。

(村田委員)

それと、「持つ」という字がすべて漢字で表記されているのですが、「心をもつ」「気持ちをもつ」という表現のときにも手偏の「持つ」という漢字を使うのはいかなものかと、一考していただきたいと思います。

それから、15ページの「施策の基本的方針」の中で、一文の中に「懸念される」という表現が2度にわたり標記されていてとても気になります。「施策」なので、これはもう既に広く公表されているとは思いますが。

(池浦教育総務課長)

これは既に公表されたものをコピーしたものですので、後で作成者にそのように伝えたいと思います。

(雲尾委員長)

配布資料の「教育事務点検評価委員会委員の意見及び対応について」8ページ、(4)生涯学習施設の整備・充実の項目で対応の部分は「評価に記載」と書いてあるが、評価報告書の30ページを見ると特に対応が書いていない。これはどうしてか。

(金子生涯学習課長)

(4)の意味、説明は前回記載した文章表現をそのまま使用させていただきたいということで、「評価に記載」と書きました。

(雲尾委員長)

では「評価に記載」というのは、報告書に具体的内容の説明を記載したということではないということですね。

(金子生涯学習課長)

はい、そうです。もう少し噛み砕いた表現の方がいいでしょうか。

(雲尾委員長)

そうすると資料「教育事務点検評価委員会委員の意見及び対応について」の方を「評価に記載」ではない別の表現にした方がいいと思います。

(金子生涯学習課長)

では、こちらは削除させていただきます。

(雲尾委員長)

何か全体を通してご意見等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

若干語句の修正等はあるかと思いますが、意味を変えない範囲での表現上の修正でございますので訂正していただきたいと思います。

あと、点検評価報告書の表紙をめくると点検及び評価の実施方針がございます。この中に「(3)教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」とあります。これらのことについては私ども委員は委嘱状をいただいでいて、点検評価委員会の要綱も定まっていますので、この要

綱であるとか点検評価委員の名前であるとか、会議開催状況をこの報告書自体に載せる必要があるのではないかということがあります。そういったことを報告書に載せることについて、他の委員はいかがでしょうか。

(村田委員)

私は、いいと思います。

(若杉委員)

いいと思います。

(雲尾委員長)

それでは、三条市教育事務点検評価委員会要綱、委員名簿及び会議開催状況を報告書に載せていただきたいと思います。

そのほかよろしいでしょうか。

では、議事進行を事務局にお返ししたいと思います。

(3) 閉 会

(松永教育長)

教育事務点検評価につきましては、委員から様々なご意見をいただきまして、私どもでそれをどう取り入れていくかということで、本日はいろいろとご審議をいただいたわけでございます。私、今日は別に所用がありまして、会の初めにごあいさつができず申し訳ありませんでした。終わりごろになって参りましたが、皆様からご熱心にご審議いただいております。いただいたご意見やご指導は取りまとめまして、今後議会に報告していき、あるいは公開をしていきたいと思っております。

なお、委員の任期は2年ということですので、引き続き来年度もよろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

(駒形教育総務課課長補佐)

以上で、第2回三条市教育事務点検評価委員会を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。

閉 会 **午前10時59分**